

日 本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
る事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
in this Office.

願 年 月 日
Date of Application: 1 9 9 9 年 4 月 1 3 日

願 番 号
Application Number: 平成 1 1 年 特 許 願 第 1 0 5 2 8 5 号

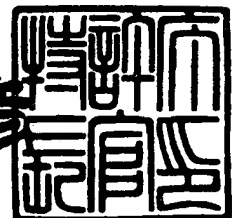
願 人
Applicant (s): セイコーエプソン株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2 0 0 0 年 4 月 2 1 日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Patent Office

近 藤 隆 彦



【書類名】 特許願

【整理番号】 SE981222

【提出日】 平成11年 4月13日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 H04N 5/225

【発明の名称】 デジタルカメラ

【請求項の数】 5

【発明者】

 【住所又は居所】 愛知県愛知郡東郷町春木台 1 - 1 4 - 1 株式会社イリ
 デザイン内

 【氏名】 大熊 啓祐

【発明者】

 【住所又は居所】 長野県諏訪市大和三丁目 3 番 5 号 セイコーエプソン株
 式会社内

 【氏名】 高橋 幸夫

【特許出願人】

 【識別番号】 000002369

 【氏名又は名称】 セイコーエプソン株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100093779

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 服部 雅紀

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 007744

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

特平 1 1 - 1 0 5 2 8 5

【包括委任状番号】 9901019

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 デジタルカメラ

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 撮影対象からの光を画像データに変換する撮像部と、
複数の設定情報を表示可能な表示部と、
複数の入力手段と、

前記設定情報の選択肢が所定の数以下のとき、前記入力手段のいずれか 1 つに
入力する毎に前記設定情報のいずれか 1 つの複数の選択肢を循環して表示する手
段と、

前記設定情報の選択肢が所定の数より多いとき、前記入力手段に入力すると前
記表示部に別の選択画面を表示する手段と、

前記設定情報に従って制御を行う制御部と、
を備えることを特徴とするデジタルカメラ。

【請求項 2】 前記入力手段は、前記表示部に表示された複数の設定情報の
近傍にそれぞれ設けられることを特徴とする請求項 1 に記載のデジタルカメラ。

【請求項 3】 前記複数の設定情報は、シャッタースピード、絞り、ホワイト
バランス、ストロボ設定のうちいずれか一種以上を含むことを特徴とする請求
項 1 または 2 のいずれかに記載のデジタルカメラ。

【請求項 4】 前記表示部は、前記画像データに基づく画像を表示できるこ
とを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載のデジタルカメラ。

【請求項 5】 前記別の選択画面は、前記設定情報の全ての選択肢を表示す
ることを特徴とする請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載のデジタルカメラ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、撮影対象からの光をデジタルデータに変換して記憶するデジタルカ
メラに関するものである。

【0002】

【従来の技術】

従来より、CCD等の光センサにより光を電気信号に変換し、その電気信号をデジタルデータに変換してフラッシュメモリ等の記憶媒体に記憶するデジタルカメラが知られている。デジタルカメラでは、パーソナルコンピュータ等を用いて画像データの保存や様々な加工を個人で手軽に行えるほか、プリンタに画像データを出力することによりフィルムの現像をすることなく写真を印刷することができる。また、プリンタの印刷品質の向上により、銀塩写真とほとんど区別がつかないほど、品質の高い写真も印刷できるようになってきている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

上記のような従来のデジタルカメラは多くの機能をもつようになり、使用者が好みによって多くの項目を設定できることが望まれている。しかしながら、使用者がすばやく設定を変更するのを可能とするためには、ボタンなどの入力手段を多数設ける必要があり、その場合、どのボタンにどのような機能が割り当てられているかが分かり難い。また、一つのボタンが小さくなるため、正確に押し難いという問題があった。液晶表示装置（LCD）などの表示装置にメニュー画面を表示させ、選択ボタンと決定ボタンの組み合わせ設定内容を選択することにより、ボタンの数を減らすことも考えられるが、その場合は操作が煩雑となり時間がかかるという問題があった。

【0004】

本発明は上記の問題を解決するためになされたものであり、その目的は、簡単な操作で種々の設定を変更することができるデジタルカメラを提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】

本発明の請求項1記載のデジタルカメラによれば、設定情報の選択肢が所定の数以下のときは、入力手段に入力する毎に複数の選択肢が循環して表示される。そのため、1つの設定を変更するのに複数の入力手段を用いる必要がなく、操作が容易となる。設定情報の選択肢が所定の数より多いときは、表示部に別の選択画面を表示する。そのため、入力回数が多くなって操作が煩雑になるのを防ぐこ

とができる。循環して表示される設定情報の選択肢の数は、4つ以下であることが望ましい。

【0006】

本発明の請求項2記載のデジタルカメラによれば、入力手段は、表示部に表示された複数の設定情報の近傍にそれぞれ設けられるため、どの入力手段に入力したときにどの設定が変更されるかが分かりやすい。

【0007】

本発明の請求項3記載のデジタルカメラによれば、複数の設定情報は、シャッタースピード、絞り、ホワイトバランス、ストロボ設定のうちいずれか一種以上を含む。そのため、撮影条件の変更を簡単な操作ですばやく変更することができる。

【0008】

本発明の請求項4記載のデジタルカメラによれば、表示部は、画像データに基づく画像を表示できるため、撮影時に表示部をファインダーとして用いたり、撮影済みの画像をその場で確認することができる。

【0009】

本発明の請求項5記載のデジタルカメラによれば、入力手段への入力により表示される別の選択画面は、設定情報の全ての選択肢を表示する。そのため、どのような選択肢があるのか使用者に分かりやすい。

【0010】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施例を図面に基づいて詳細に説明する。

図3は本発明の一実施例によるデジタルカメラ10の構造を説明するためのブロック図である。デジタルカメラ10は、制御部11、集光レンズ12、撮像部としてのCCD (Charge Coupled Device) 13、A/D変換器14、画像データを一時的に記録するRAM (Random Access Memory) 15、圧縮された画像データを記録可能なメモリカード16、メモリカード16が着脱可能なカードスロット20、画像を表示する液晶表示装置 (LCD) 21、LCD21に表示される画像のためのデータが格納されるVRAM18、メモリカード16内のデータ

を外部機器に出力するためのインターフェイス 19 などから構成される。

【0011】

制御部 11 は CPU と、データの入出力手段とを備え、制御プログラムを実行することにより、デジタルカメラ 10 の様々な制御を行う。集光レンズ 12 には集光レンズ 12 に入力される光量を調節するための絞り 121 が設けられている。CCD 13 として、C (Cyan)、M (Magenta)、Y (Yellow)、G (Green) の補色フィルタを有する複数の撮像素子がマトリックス状に配置された CCD 13 を用いることにより、カラー画像を撮影することができる。補色フィルタは、C、M、Y の 3 色の場合もある。R (Red)、G (Green)、B (Blue) の原色フィルタを有する CCD を用いる場合もある。RAM 15 としてはセルフリフレッシュ機能をもつ S-DRAM (Synchronous Dynamic RAM) が用いられる。

【0012】

メモ리카ード 16 は、通電しなくても記録内容を保持することのできる書換え可能な記憶媒体であるフラッシュメモリなどに画像データが記録され、デジタルカメラ 10 のカードスロット 20 に着脱自在に装着されている。メモ리카ード 16 として例えば PCMCIA 規格に準拠したメモ리카ード、または PCMCIA カードアダプタに取付け可能なメモ리카ードを用いることにより、PCMCIA カード用スロットを有するパーソナルコンピュータでメモ리카ード 16 の内容を直接読み書きすることができる。

【0013】

図 1、図 2 は本実施例のデジタルカメラ 10 を示す背面図および平面図である。デジタルカメラ 10 は、使用者が LCD 21 またはビューファインダーとしての光学ファインダー 110 により撮影範囲を決定し、シャッターボタン 101 を押すことにより撮影が行われる。制御部 11 は、シャッターボタン 101 を可動範囲の途中まで押した「半押し」と、可動範囲の限界あるいは限界近傍まで押した「全押し」を区別して認識することができる。使用者は、デジタルカメラの作動モードを切り替えるモード切り替えダイヤル 102 により第 1 の撮影モードとしての「ビューファインダーモード」、第 2 の撮影モードとしての「LCD モード」、「Off」、「プレイバックモード」、「ダイレクトプリントモード」、

「セットアップモード」の6つのモード中からいずれか1つを選択する。

【0014】

「ビューファインダーモード」は、デジタルカメラ10の消費電力を節約するために、主に光学ファインダー110を用いて撮影を行うモードである。「LCDモード」は、主にLCD21をファインダーとして用いて撮影を行うモードである。「プレイバックモード」は、すでに撮影され、メモリカード16に記録された画像データに基づく画像を表示するモードである。「ダイレクトプリントモード」は、デジタルカメラ10を外部のプリンタにインターフェイス19を介して接続し、画像を印刷するためのモードである。「セットアップモード」は、デジタルカメラ10の撮影条件などの各種設定を行うモードである。モード切り替えダイヤル102が「Off」の位置にセットされた時は、デジタルカメラ10の電源はオフになる。

【0015】

LCD21の周囲には、入力手段としての入力キー103～109が設けられている。制御部10は、選択されたモードに応じた制御プログラムを実行する。そして、使用者によるシャッターボタン101や入力キー103～109の入力を検出し、それに対応した制御を行う。また、デジタルカメラ10の上部には、画質選択ボタン111、ストロボ選択ボタン112、モード選択ボタン113が設けられている。画質選択ボタン111を押すと、画像データの圧縮率や画素数を変更することにより、記録画質が変更される。ストロボ選択ボタン112を押すと、ストロボの発光モードを「自動で発光を制御」、「常に発光」、「常に発光しない」の中から選択できる。モード選択ボタン113を押すと、「通常の撮影モード」、「近接撮影モード」、「拡大撮影モード」、「パノラマ撮影モード」などの切り替えができる。各選択ボタン111、112、113により設定される内容は、セグメント式のLCD114に表示される。

【0016】

次に、本実施例のデジタルカメラ10の動作を説明する。

モード切り替えダイヤル102を「Setup」の位置にセットすると、デジタルカメラ10は、セットアップモードとなり、LCD21に図4の(A)に示

すようなデジタルカメラ 10 に関する複数の設定情報を含む画面が表示される。

【0017】

LCD 21 の日付・時刻が表示される位置の近傍に設けられた入力キー 103 を押すと、LCD 21 の表示は図 4 の (B) に示すように切り替わり、日付および時刻の修正を行うことができる。入力キー 108、109 で修正する項目を選択し、入力キー 104、105 で数値を増減させる。入力キー 103 または 107 を押すと図 4 の (A) に示す画面に戻る。

【0018】

図 4 の (A) に示す画面が表示された状態で、ビューファインダーモードに関する設定が表示される位置の近傍に設けられた入力キー 104 を押すと、図 4 の (C) に示す画面になり、ビューファインダーモードの設定が「カスタム」から「自動」に切り替わる。もう一度入力キー 104 を押すと、図 4 の (A) に示す画面になり、ビューファインダーモードの設定が「自動」から「カスタム」に切り替わる。すなわち、入力キー 104 を押す毎にビューファインダーモードの設定は、「カスタム」と「自動」とが交互に切り替わる。

【0019】

図 4 の (A) に示す画面が表示された状態で、LCD モードに関する設定が表示される位置の近傍に設けられた入力キー 105 を押した場合も同様に、入力キー 105 を押す毎に LCD モードの設定は、図 4 の (A) に示す「ME/MF」と図 5 の (D) に示す「AE/AF」とが交互に切り替わる。「ME/MF」モードは、使用者がマニュアルで露出や焦点を設定するモードであり、「AE/AF」モードは制御部 11 が自動的に露出や焦点を設定するモードである。

【0020】

図 4 の (A) に示す画面が表示された状態で、「他の設定」の文字が表示される位置の近傍に設けられた入力キー 107 を押すと、図 5 の (E) に示す画面に切り替わり、別の設定情報が表示される。この画面では、入力キー 103 を押すことにより、省エネルギー設定のあり、なしを選択する。入力キー 104、105 を押すことにより、露出の補正を行う。入力キー 106 を押すことにより、LCD に表示される文字の言語を選択する。入力キー 108 を押すことにより、撮

影時に録音を行うか行わないかを選択する。入力キー 109 を押すことにより、シャッターボタン 101 を押したときに、電子合成のシャッター音を発生させるかどうかを選択する。入力キー 107 を押すと、図 4 の (A) に示す設定画面に戻る。

【0021】

モード切り替えダイヤル 102 を「Play」の位置にセットすると、プレイバックモードとなり、LCD 21 にメモリカード 16 内の画像データに基づいた撮影済の画像が表示される。また、撮影済み画像の上に重ねて、図 6 の (F) に示すようなメニュー画面が表示される。メニュー画面の表示・非表示は、入力キー 107 を押すことにより切り替えることができる。

【0022】

図 6 の (F) に示す画面が表示された状態で入力キー 103 を押すと、「マニュアル再生モード」から図 6 の (G) に示す「スライド再生モード」に切り替わる。図 6 の (G) に示す画面が表示された状態で入力キー 103 を押すと、「スライド再生モード」から「拡大・スクロール再生モード」に切り替わる。図 6 の (H) に示す画面が表示された状態で、入力キー 103 を押すと、「拡大・スクロール再生モード」から「マニュアル再生モード」に切り替わる。

【0023】

図 6 の (F) に示す「マニュアル再生モード」では、メモリカード 16 に記録されている画像の枚数と、その中で現在何枚目が LCD 21 に表示されているかが例えば「12/32」という形で表示される。入力キー 104 を押すと、メモリカード 16 内の格納順で直前の画像が表示され、入力キー 105 を押すと次の画像が表示される。入力キー 106 を押すと、誤って画像データを削除するのを防ぐため画像データにロックをかけることができる。もう一度入力キー 106 を押すとロックは解除される。入力キー 108 を押すと、LCD 21 の 1 画面に表示する画像の数を選択できる。例えば、入力キー 108 を押す毎に、1 画像、2×2 の 4 画像、3×3 の 9 画像の表示が循環して切り替わる。入力キー 109 を押すと、画像データを削除することができる。削除前には本当に削除してもよいか、確認画面が表示される。

【0024】

図6の(G)に示す「スライド再生モード」では、入力キー106を押すことによりスライド再生を開始し、複数の画像を連続して表示することができる。デジタルカメラ10をテレビなどに接続してプレゼンテーションなどを行うのに好適である。入力キー104を押すことにより、1つの画像を何秒間表示するかを設定することができる。入力キー105を押すことにより、スライド再生により表示される画像を選択することができる。入力キー108を押すことにより、再生の順番を順方向と逆方向とで切り替えることができる。入力キー109を押すことにより、日付・時刻などの撮影情報の表示・非表示を切り替えることができる。

【0025】

図6の(H)に示す「拡大・スクロールモード」では、画像を4×4の領域に分割する線が表示され、そのうち2×2の領域を囲む選択枠が表示される。入力キー104、105、108、109を押すことにより、選択枠に囲まれる領域を移動させ、入力キー106を押すことにより、選択された領域をLCD21の画面いっぱいに表示させることができる。

【0026】

モード切り替えダイヤル102が「SH1」の位置にセットされると、第1の撮影モードとしてのビューファインダーモードになる。

セットアップモードで、ビューファインダーモードの設定が「自動」になっているときは、LCD21には通電されず、LCD21は非表示の状態である。通常はCCD13に通電されない状態であり、使用者がシャッターボタン101を半押した段階でCCD13の作動が開始し、制御部11により露出の設定、焦点の設定、ホワイトバランスの設定などが自動的に行われる。露出は、シャッタースピードと絞りによって決定される。使用者は光学ファインダー110を用いて撮影範囲を決定する。ただし、モード切り替えボタン113により、近接撮影モード、拡大撮影モード、パノラマ撮影モードのいずれかが選択されている場合は、撮影範囲を正確に確認できることが望ましいので、数分の1秒～数十分の1秒毎に集光レンズ12によりCCD13に集光された光が電気信号に変換され、デ

デジタルの画像データに変換されてVRAM18に転送され、LCD21に撮影対象が動画として表示される。

【0027】

セットアップモードで、ビューファインダーモードの設定が「カスタム」になっているときは、LCD21に図7の(I)に示す画面が表示される。初期状態では、ホワイトバランスは自動設定となっている。ホワイトバランスに関する設定が表示された位置近傍の入力キー104を押すと、図7の(J)に示す画面に切り替わり、前回カスタム設定したホワイトバランスの設定が使用される。この画面が表示された状態で入力キー104を押すと、図7の(K)に示す画面に示す画面に切り替わる。「NO」が表示された位置近傍の入力キー105を押すと、図7の(J)に示す画面に戻る。ここで再び入力キー104を押すと、図7の(I)に示す画面に切り替わり、ホワイトバランスが自動設定になる。図7の(K)に示す画面が表示された状態で、「YES」が表示された位置近傍の入力キー106を押すと、使用者がホワイトバランスをカスタム設定することができる画面に切り替わる。

【0028】

図7の(I)に示す画面が表示された状態では、ストロボの発光モードは自動設定に固定されており、ストロボ選択ボタン112を押しても変更されない。ストロボに関する設定が表示された位置近傍の入力キー105を押すと、図8の(L)に示す画面に切り替わりストロボの発光モードが変更可能になる。

【0029】

入力キー106の近傍には、露出補正の設定が表示されている。入力キー106を押すことにより、図8の(M)に示すように露出補正の全ての選択肢が表示された別の選択画面に切り替わり、入力キー104、105を押すことにより、制御部11が自動的に決定する露出からどれだけ変更するかを決定することができる。入力キー107を押すと、元の画面に戻る。

また、入力キー108を押すことにより、画像をカラーで記録するか白黒で記録するかを選択することができ、入力キー109を押すことにより、標準感度で撮影するか高感度で撮影するかを選択することができる。

【 0 0 3 0 】

使用者がデジタルカメラ 1 0 のシャッターボタン 1 0 1 を半押しすると、CCD 1 3 が認識する画像に適切な露出やフォーカスが設定され、シャッターボタン 1 0 1 が半押しの間露出やフォーカスが固定される。

【 0 0 3 1 】

近接撮影モード、拡大撮影モード、パノラマ撮影モードのいずれかが選択されている場合は、「自動」の場合と同様に、数分の 1 秒～数十分の 1 秒毎に集光レンズ 1 2 により CCD 1 3 に集光された光が電気信号に変換され、デジタルの画像データに変換されて VRAM 1 8 に転送され、LCD 2 1 に撮影対象が動画として表示され、図 7、図 8 に示すメニュー画面は動画の上に重ねて表示される。

【 0 0 3 2 】

使用者がシャッターボタン 1 0 1 を全押しすると、撮影が開始され画像データの作成が行われる。

まず、CCD 1 3 に蓄積された電荷が一旦すべて放電され、その後集光レンズ 1 2 により集光された光が CCD 1 3 に入力される。CCD 1 3 では光が光量に応じた電荷に変換される。CCD 1 3 から出力された電気信号は、A/D 変換器 1 4 によりデジタル信号に変換される。A/D 変換器 1 4 から出力されるデジタルデータは高速化のため DMA (Direct Memory Access) により制御部 1 1 を介さずに直接 RAM 1 5 のアドレスを指定して転送される。

【 0 0 3 3 】

CCD 1 3 から転送されたデータは、1 画素について 1 色相当の情報しかもたないため、RAM 1 5 に記録されたデータについて周囲の画素の色情報を基に色補間を行い、例えば 1 2 8 0 × 9 6 0 ピクセルの各画素について色情報をもつ画像データを作成する。

【 0 0 3 4 】

次に、メモリカード 1 6 への記録枚数を多くするために J P E G (Joint Photographic Experts Group) の規格による非可逆圧縮方式により圧縮し、容量の小さな圧縮データを生成する。J P E G は一般に用いられるカラー画像の圧縮方法であり、圧縮率を変更することにより保存画質を調整することができる。J P E

G圧縮は、制御部 11 によってソフトウェア的に行うほか、高速化のために専用の回路を用いることができる。J P E G 圧縮された圧縮データは、メモ리카ード 16 に記録される。

【0035】

モード切り替えダイヤル 102 が「SH2」の位置にセットされたときは、第 2 の撮影モードとしての L C D モードとなり、L C D 21 に撮影対象が動画として表示される。

セットアップモードで「AE / AF」が選択されている場合は、図 9 の (N) に示すような画面が L C D 21 の動画の上に重ねて表示される。

【0036】

図 9 の (N) に示す画面では、拡大撮影モードに設定されており、拡大倍率が表示される位置近傍の入力キー 103 を押す毎に、拡大倍率の表示が例えば、「×1.25」、「×1.6」、「×2.0」の 3 つが循環して切り替わり、拡大倍率を設定することができる。L C D 21 には拡大率に対応した撮影範囲の動画が表示される。

【0037】

また、図 9 の (N) に示す画面が表示された状態で入力キー 105 を押すことにより、図 9 の (O) に示す画面が表示され、AE / AF の測光モードがスポット測光モードから中央重点測光モードに切り替わる。図 9 の (O) に示す画面が表示された状態で、入力キー 105 を押すことにより、中央重点測光モードからスポット測光モードに切り替わる。

入力キー 104、106、108、109 を押したときの動作は、前述したビューファインダーモードで「カスタム」が選択されている場合と同様である。

【0038】

セットアップモードで、「ME / MF」が選択されている場合は、図 10 の (P) に示すような画面が L C D 21 の動画の上に重ねて表示される。

デジタルカメラ 10 の焦点距離が表示される位置近傍の入力キー 104、105 を押すことにより、焦点距離を使用者がマニュアルで変更することができる。そのため、わざとピントをずらすことや、手前にピントが合っているいわゆる「

前ピン」あるいは後にピントが合っている「後ピン」で撮影することができる。

【0039】

シャッタースピードが表示される位置近傍に設けられた入力キー 108 を押すと、シャッタースピードを例えば 1/2、1/30、1/125 および 1/750 の中から選択することができる。それに加え、図 10 の (Q) に示すように、設定した絞りに固定したときに適切なシャッタースピードとなるように制御部 11 が決定する、絞り優先のシャッタースピードを選択することもできる。

【0040】

絞りが表示される位置近傍に設けられた入力キー 106 を押すと、絞りを例えば、F2、4 または F8 のいずれかに選択することができる。それに加え、図 10 の (R) に示すように、設定したシャッタースピードに固定したときに適切な絞りとなるように制御部 11 が決定する、シャッタースピード優先の絞りを選択することもできる。

【0041】

使用者がシャッターボタン 101 を全押しすると、撮影が開始されビューファインダーモードと同様の手順で画像データの作成が行われ、JPG 圧縮された圧縮データはメモ리카ード 16 に記録される。画像データがメモ리카ード 16 に記録開始されてから完了するまでには数秒から十数秒の時間がかかる場合があるが、その間 LCD 21 には画像データに基づいた画像が表示され続ける。

【0042】

モード切り替えダイヤル 102 が「DP」の位置にセットされると、ダイレクトプリントモードになる。デジタルカメラ 10 を外部のプリンタに接続し、使用者が入力キー 103 ~ 109 を操作することにより、撮影済みの画像を選択して印刷することができる。

【0043】

以上、実施例によって説明したように本発明のデジタルカメラによれば、例えば白黒で撮影するかカラーで撮影するかを選ぶ設定のように、選択肢が少ない設定を変更するときには、1つの入力キーを押すだけで設定が変更でき、操作が容易である。さらに、LCD に表示された各設定内容の近傍に各入力キーが設けら

れているため、どのキーを押したときにどの設定が変更されるかがわかりやすい。日付の設定のように選択肢が多い場合は、別の画面を表示して設定を行う。また、露出の設定のように、すべての選択肢を表示してその中から選択するようにするとより選択しやすい。

【0044】

本発明の実施例では、入力手段として入力キーを用いたが、LCDの表面を押して入力するタッチパネルを用いてもよい。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の一実施例によるデジタルカメラを示す平面図である。

【図2】

本発明の一実施例によるデジタルカメラを示す背面図である。

【図3】

本発明の一実施例によるデジタルカメラを示すブロック図である。

【図4】

本発明の一実施例によるデジタルカメラの入力キーと、セットアップモードにおいてLCDに表示される画面を示す図である。

【図5】

本発明の一実施例によるデジタルカメラの入力キーと、セットアップモードにおいてLCDに表示される画面を示す図である。

【図6】

本発明の一実施例によるデジタルカメラの入力キーと、プレイバックモードにおいてLCDに表示される画面を示す図である。

【図7】

本発明の一実施例によるデジタルカメラの入力キーと、ビューファインダーモードにおいてLCDに表示される画面を示す図である。

【図8】

本発明の一実施例によるデジタルカメラの入力キーと、ビューファインダーモードにおいてLCDに表示される画面を示す図である。

【図 9】

本発明の一実施例によるデジタルカメラの入力キーと、LCDモードにおいてLCDに表示される画面を示す図である。

【図 10】

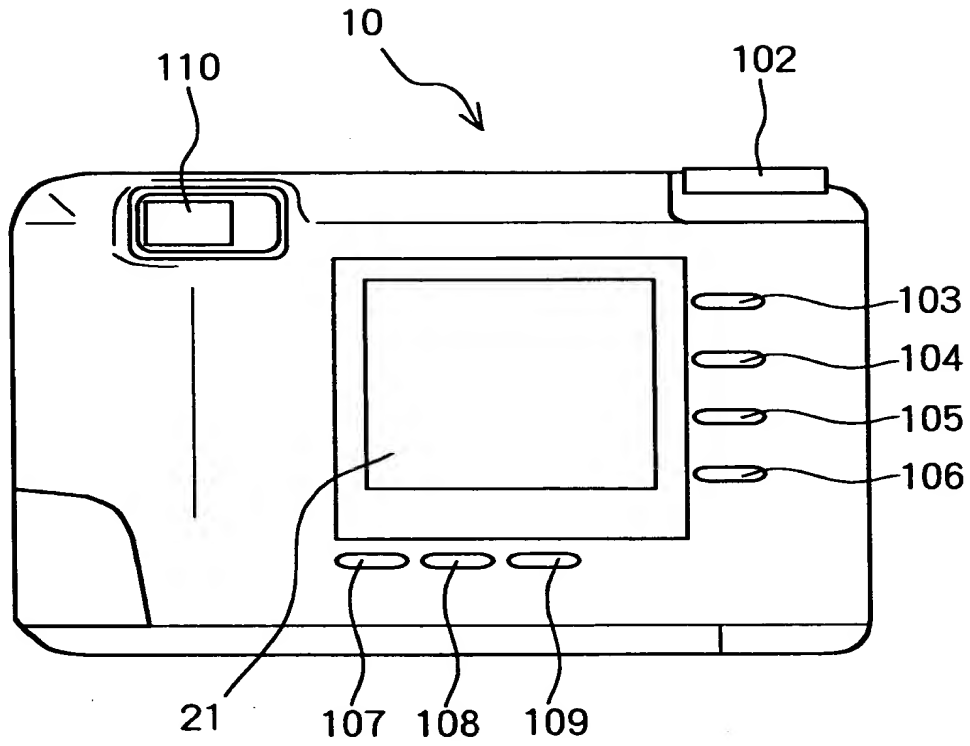
本発明の一実施例によるデジタルカメラの入力キーと、LCDモードにおいてLCDに表示される画面を示す図である。

【符号の説明】

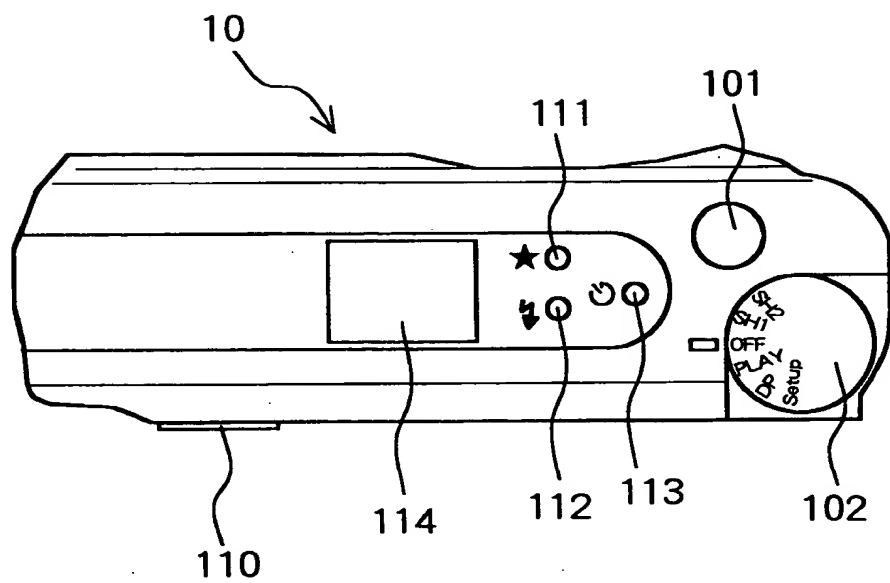
- 10 デジタルカメラ
- 11 制御部
- 12 集光レンズ
- 121 絞り
- 13 CCD（撮像部）
- 14 A/D変換器
- 15 RAM
- 16 メモリカード
- 18 VRAM
- 19 インターフェイス
- 20 カードスロット
- 21 液晶表示装置（LCD、表示部）
- 101 シャッターボタン
- 102 モード切り替えダイヤル
- 103、104、105、106、107、108、109 入力キー
- 110 光学ファインダー

【書類名】 図面

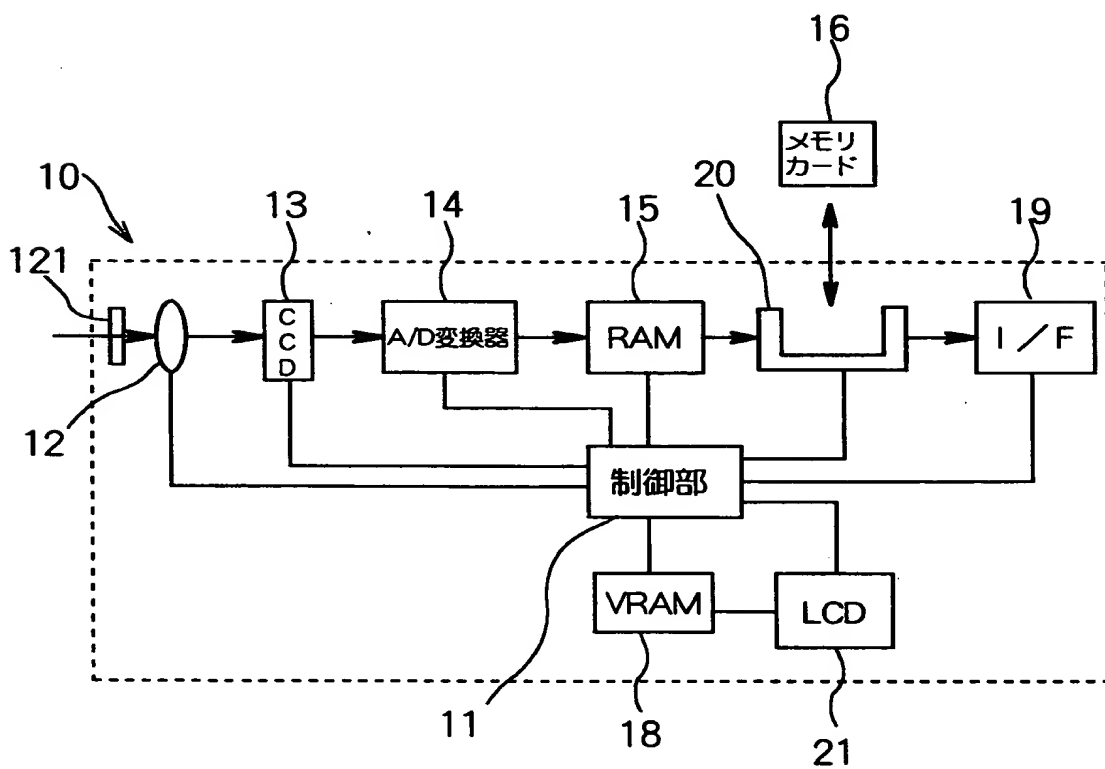
【図1】



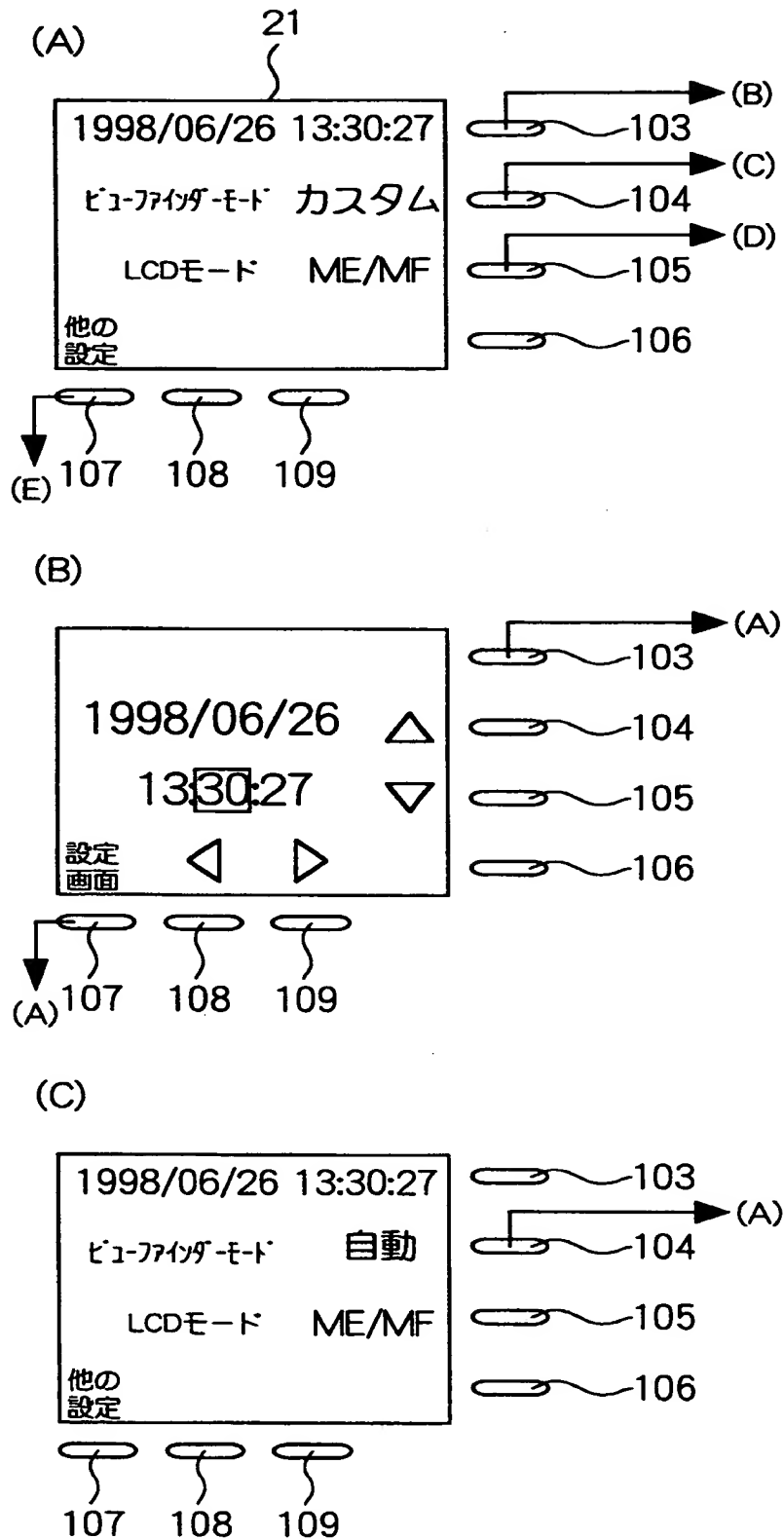
【図2】



【図3】

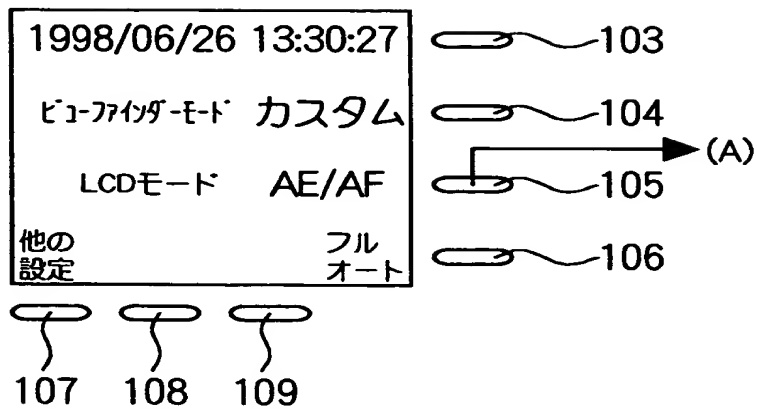


【図4】

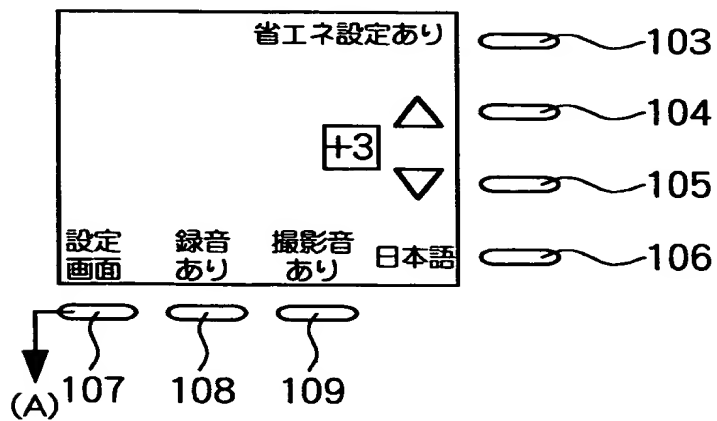


【図 5】

(D)

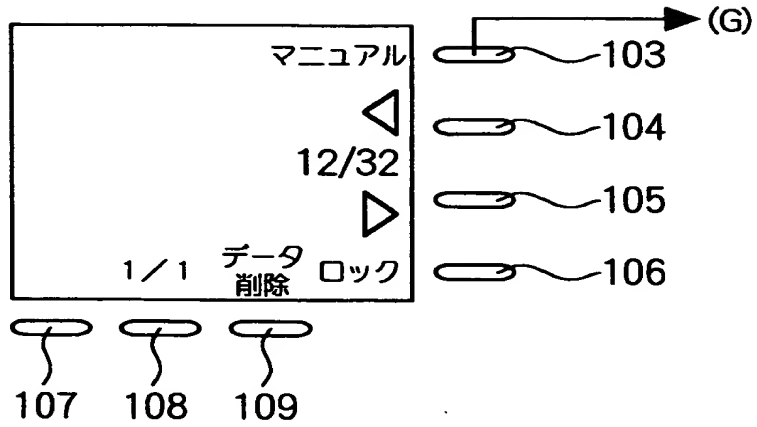


(E)

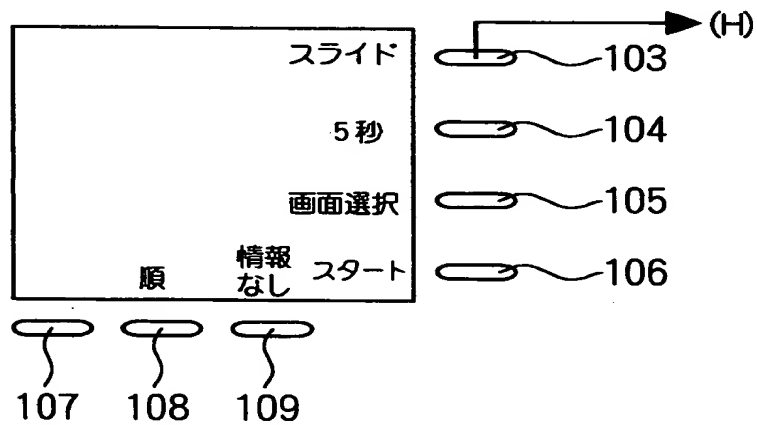


【図 6】

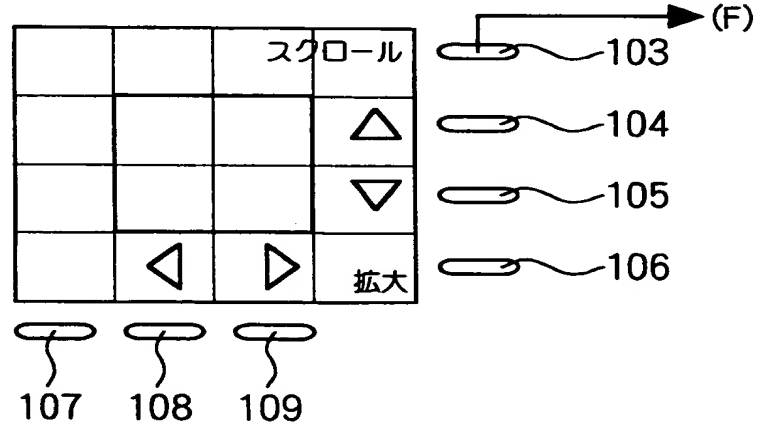
(F)



(G)

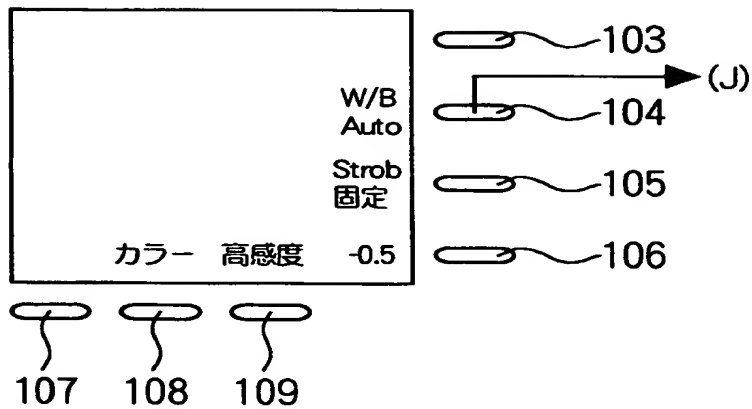


(H)

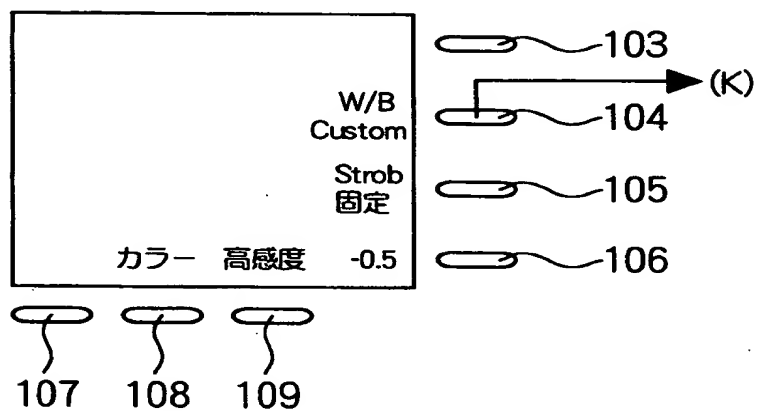


【図 7】

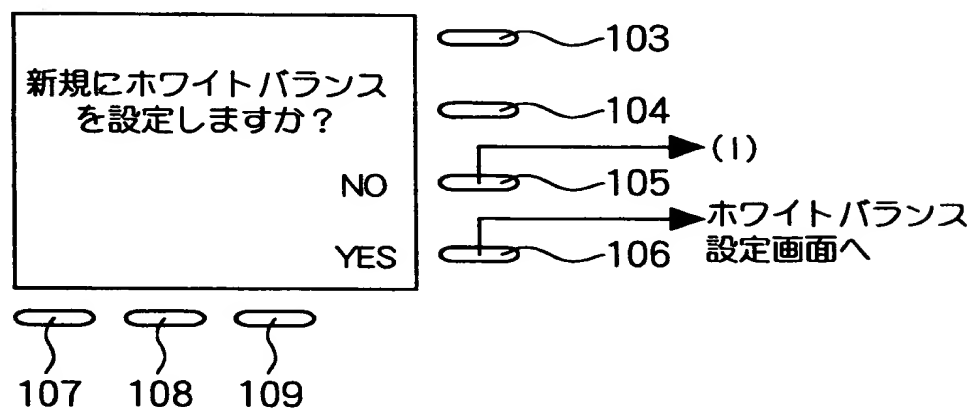
(I)



(J)

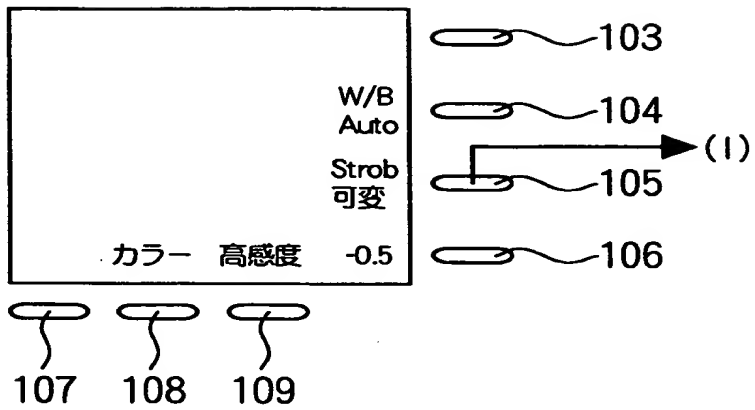


(K)

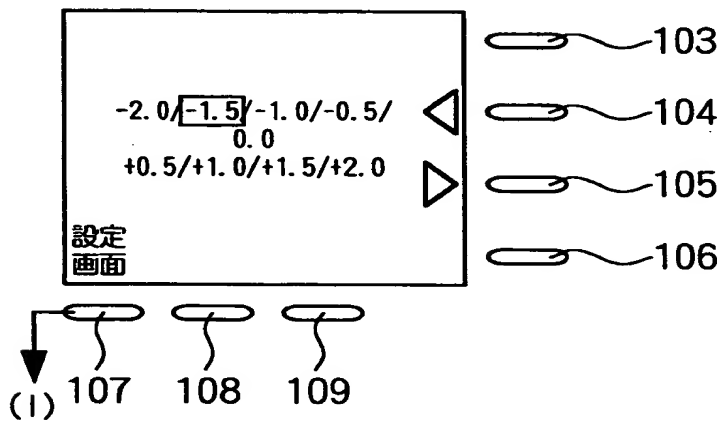


【図 8】

(L)

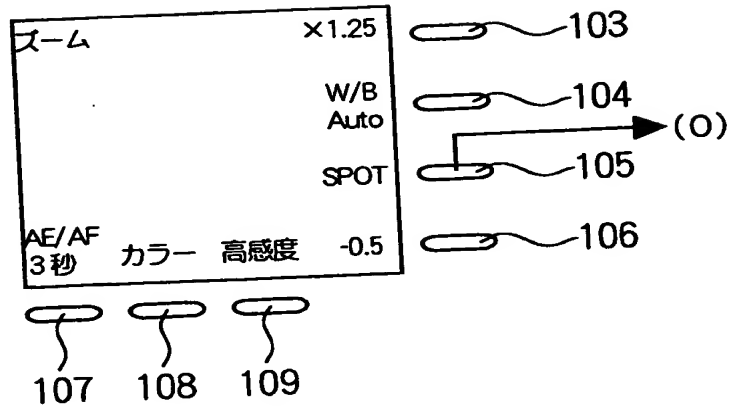


(M)

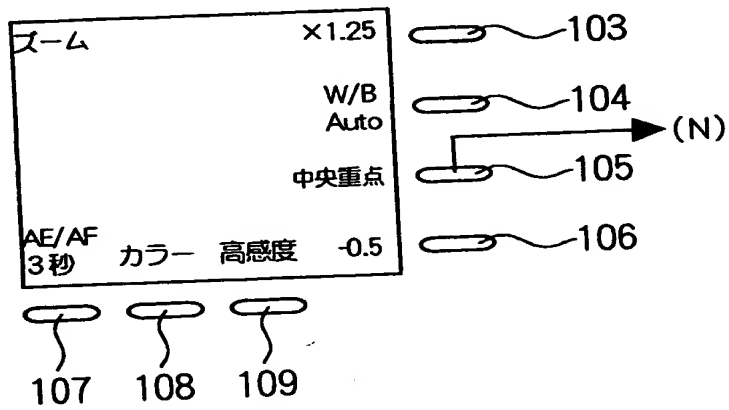


【図9】

(N)

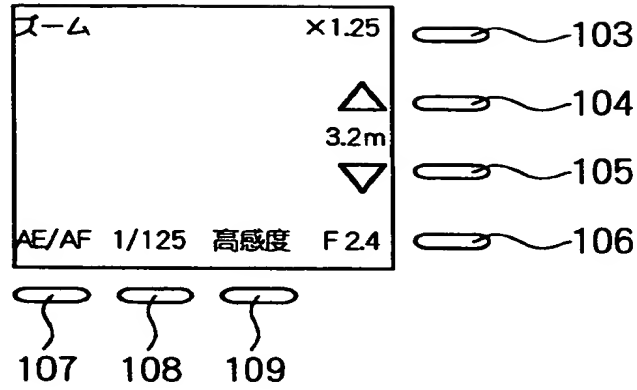


(O)

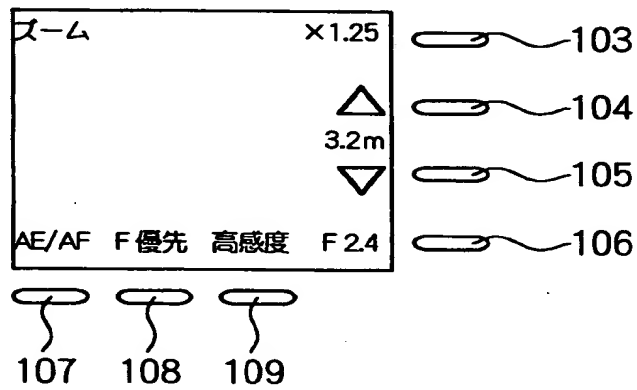


【図 1 0】

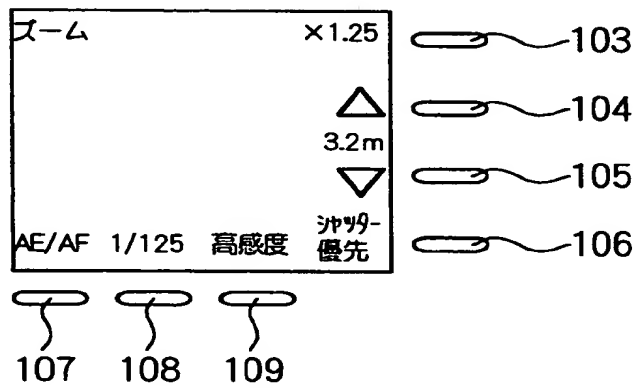
(P)



(Q)



(R)



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 簡単な操作で種々の設定を変更することができるデジタルカメラを提供する。

【解決手段】 デジタルカメラ 1 0 には、複数の設定情報を表示する L C D 2 1 が設けられる。L C D 2 1 の周囲に設けられた複数の入力キーを押すことにより、入力キーの近傍に表示される設定情報を変更することができる。設定情報の選択肢が 4 以下のときは、入力キーを押す毎に循環して選択肢が表示される。設定情報の選択肢が 4 より多いときには、L C D 2 1 に全ての選択肢を含む別画面を表示して、設定情報を変更する。そのため、選択肢の数に応じて適した方法でデジタルカメラ 1 0 の設定を変更することができる。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000002369]

1. 変更年月日 1990年 8月20日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都新宿区西新宿2丁目4番1号

氏 名 セイコーエプソン株式会社